すべての企業を世界につなぐ
言葉のコンシェルジュ

2020年10月

株式会社翻訳センター（ジャスダック　証券コード：2483）

代表取締役社長　二宮俊一郎

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

本日のご説明内容

Ⅰ．翻訳センターとは

Ⅱ．今後の戦略～第四次中期経営計画

Ⅲ．2021年3月期1Q業績と通期予想

Ⅳ．株主還元

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

1．会社概要

■会社名	株式会社 翻訳センター
■代表者	二宮　俊一郎
■本社所在地	大阪府大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
■設立	1986年4月
■資本金	5億8,844万円（2020年3月末現在）
■連結売上高	115億5,057万円（2020年3月期実績）
■事 業 所	【国内】大阪、東京、名古屋、福岡（営業所） 【海外】サンフランシスコ、ニューヨーク（営業所）
■連結従業員数	511人（2020年9月末現在）
■関係会社 ［事業内容］	（株）アイ・エス・エス［通訳、人材派遣、コンベンション、通訳者・翻訳者養成］ （株）外国出願支援サービス［海外への特許出願支援］ （株）パナシア　［メディカルライティング］ （株）メディア総合研究所　［翻訳］ HC Language Solutions, Inc. ［翻訳、通訳］ ランゲージワン（株）　［多言語コールセンター］

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

2．沿革

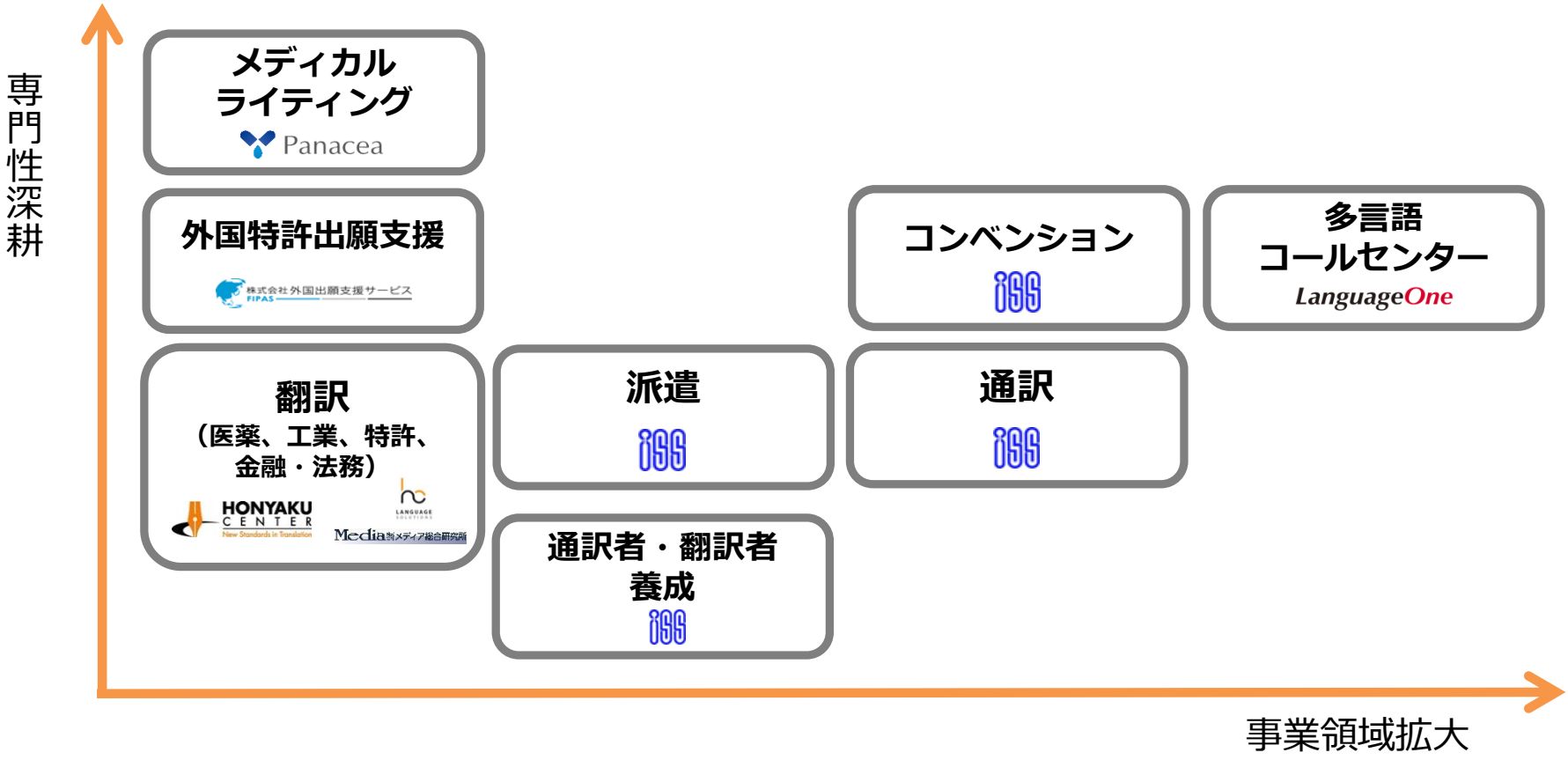
1986年4月	大阪・道修町に医薬専門の翻訳会社として設立
1988年9月	工業分野の翻訳サービスを開始
1997年8月	特許分野の翻訳サービスを開始
1998年4月	金融・法務分野の翻訳サービスを開始
2006年4月	大阪証券取引所「ヘラクレス」上場（現・東京証券取引所「JASDAQ」）
2006年11月	HC Language Solutions, Inc.　設立（アメリカ、カリフォルニア州）
2010年12月	株式会社外国出願支援サービス　設立
2012年9月	株式会社アイ・エス・エスをグループ会社化
2014年10月	株式会社パナシア　設立
2015年4月	ランゲージワン株式会社　設立
2017年10月	株式会社みらい翻訳に資本参加
2017年11月	株式会社メディア総合研究所をグループ会社化
2018年2月	東京本社設置（大阪本社との二本社制）

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

3．事業内容

専門性深耕と事業領域拡大の両立＝翻訳センターグループ

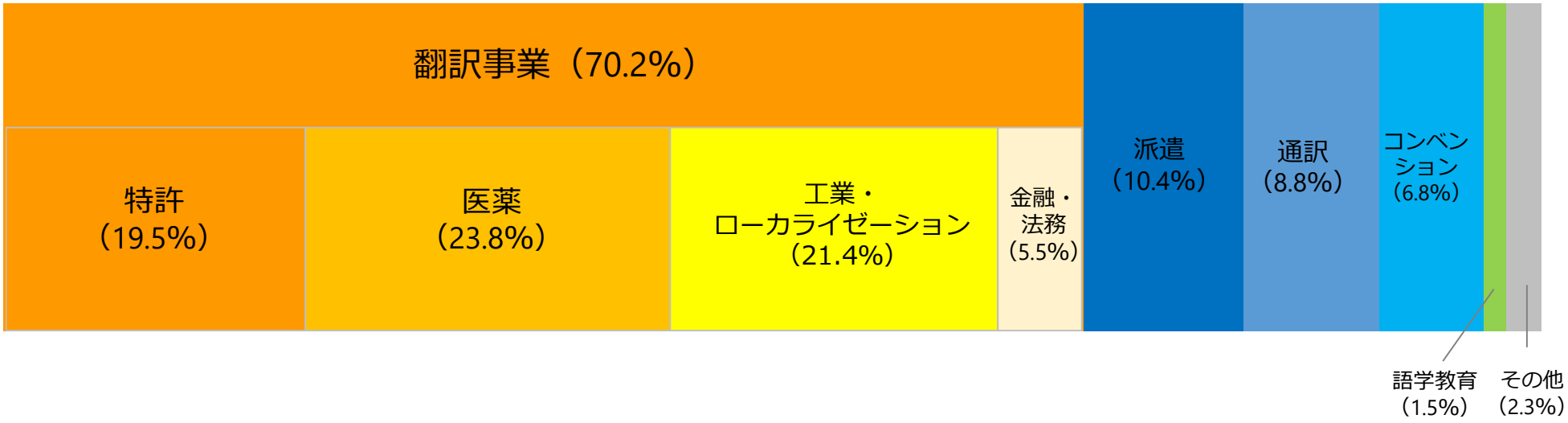


Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

４．事業別売上高構成比

連結売上高１１５億の約７０％（約８１億）は翻訳事業が占める

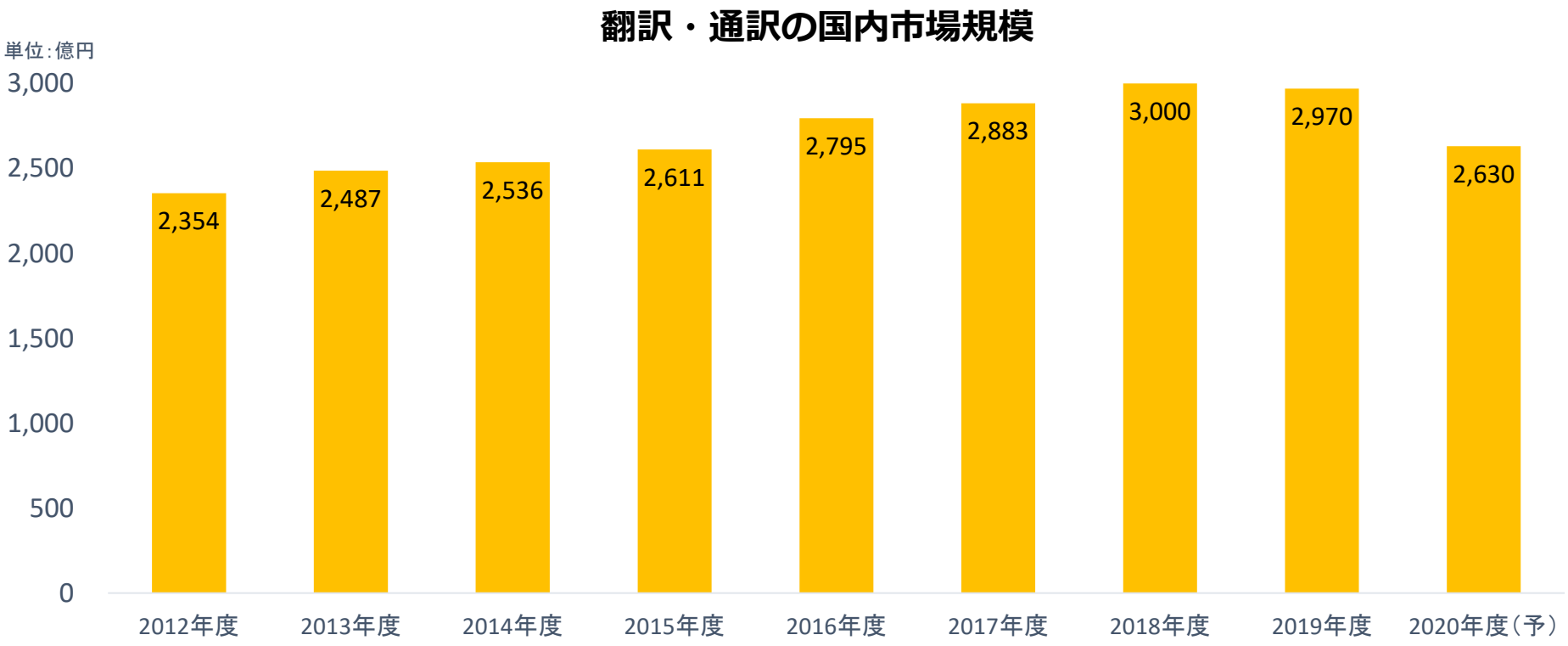
２０２０年３月期　事業別売上高構成比



Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

5．翻訳・通訳の国内市場規模

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で市場の先行きは不透明



「語学ビジネス徹底調査レポート」（矢野経済研究所）を基に当社にて作成

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER New Standards in Translation

Ⅰ．翻訳センターとは

Ⅱ．今後の戦略～第四次中期経営計画

Ⅲ．2021年3月期1Q業績と通期予想

Ⅳ．株主還元

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

1．第四次中期経営計画 （2019年3月期～2021年3月期）

基本方針

日本を代表する言語サービスのコンサルティング企業を目指し、最新のテクノロジーを活用したソリューションビジネスへの転換を図り、翻訳事業の高付加価値化を実現する。

重点施策

ソリューション提案力の強化

- 専門特化サービスの集合体としての強み・価値の訴求
- 各種ツール・ソフトウェアを活用した翻訳業務の効率化の提案

言語資産の活用

- 中長期的な競争力を支える言語資産の蓄積と運用のための環境整備
- 翻訳作業工程のIT化による品質の安定と生産効率の向上

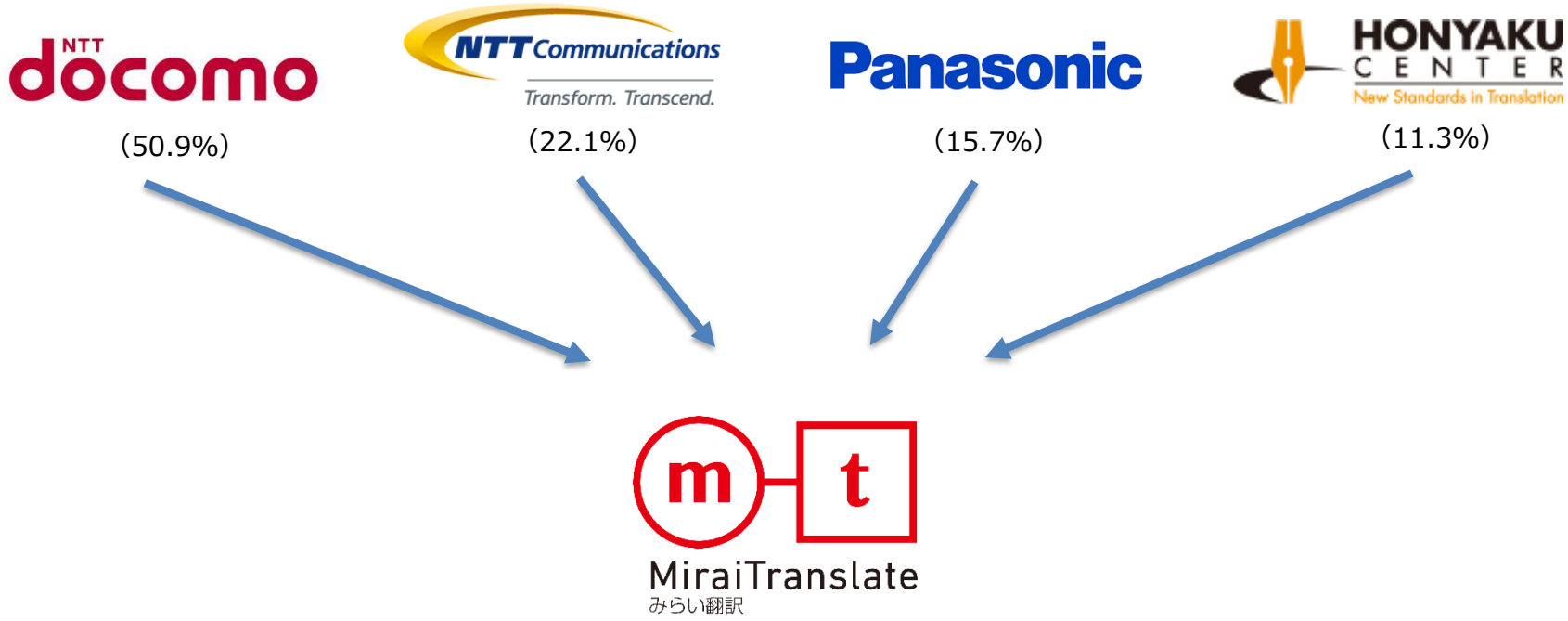
経営基盤の整備

- 業務プロセスの標準化と自動化による生産性の向上
- 環境の変化に対応するための人材育成と組織機構の最適化

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER New Standards in Translation

2． 機械翻訳の取組み　（株）みらい翻訳との協業



*各社ロゴ下、カッコ内の数値は2019年6月時点の出資比率

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

３．機械翻訳の戦略的位置づけ

■機械翻訳の戦略的位置づけ

（１）翻訳工程の生産性向上

翻訳工程に機械翻訳を導入し、成果物の品質安定と翻訳業務の効率化を図る

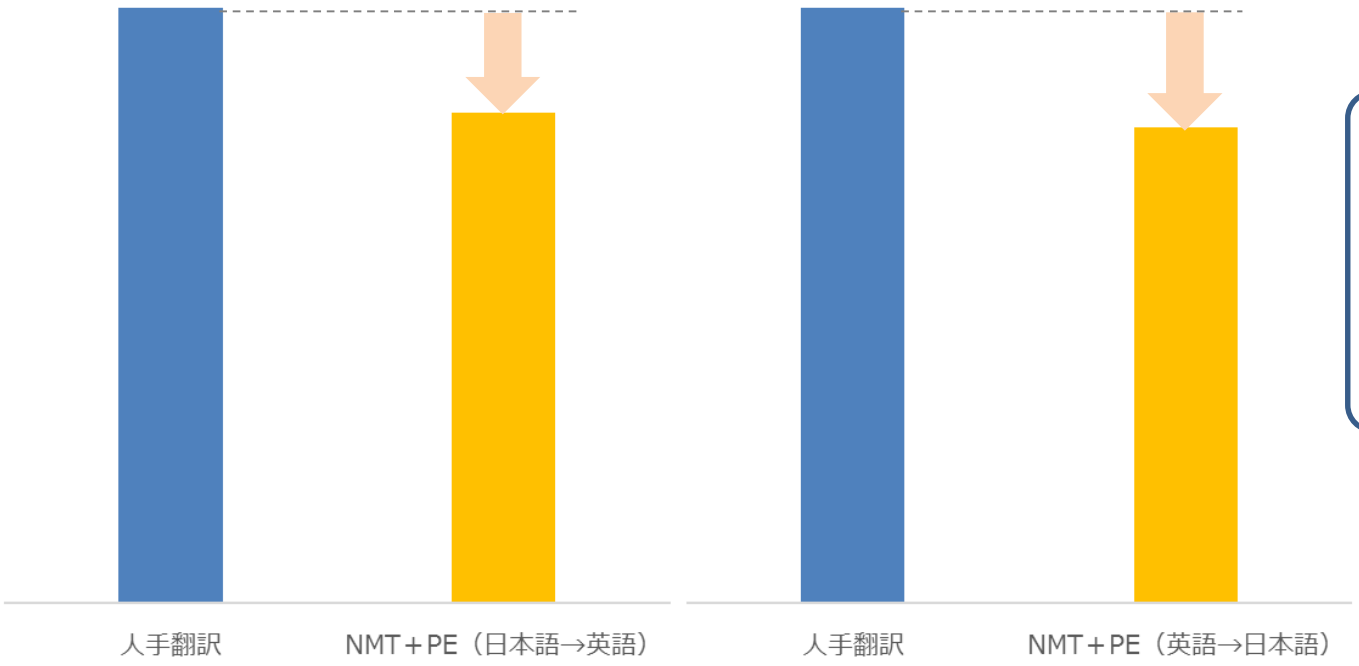
（２）機械翻訳導入顧客における顧客内シェア拡大

外販した機械翻訳エンジンの再学習を当社が支援
（人手翻訳の成果物をコーパス（対訳データ）化して、再学習時に使用）
→機械翻訳の販売を通じて人手翻訳の発注増加と顧客内シェア拡大を目指す

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

3．機械翻訳の戦略的位置づけ　機械翻訳活用による生産性向上

翻訳作業時間の比較（4分野での平均）



（2019年9月当社調べ）

機械翻訳（NMT）と
PE*の活用で
人手翻訳に比べ
約25%の時間短縮を実現

*ポストエディット、機械翻訳（NMT）で
翻訳した文章を校正し、人手翻訳に近づける作業

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

3． 機械翻訳の戦略的位置づけ　機械翻訳の現状

■翻訳文（抜粋）

139.	【発明を実施するための形態】	BEST MODE FOR CARRYING OUT THE INVENTION
140.	【0041】	[0041]
141.	以下に、この発明の一実施の形態に係る保護装置 100 について、図 1 から図 6 を参照しながら説明する。	Hereinafter, a protection device 100 according to an embodiment of the present invention will be described with reference to FIGS 1 to 6.
142.	まず、図 1 を参照して、保護装置 100 の全体構成について説明する。	First, ~~the~~a ~~overall~~general configuration of the protection device 100 will be described with reference to FIG. 1.
143.	図 1 は、本発明に係る保護装置 100 の一例を示す斜視図である。	FIG. 1 is a perspective view ~~showing~~illustrating an example of ~~a~~the protection device 100 according to the present invention.
144.	保護装置 100 は、人体、国宝、絵画等の貴重な被保護物体の周囲に配置され、当該被保護物体の損傷を防止するものであって、門型構造物 1a、1b、1c、1d、下側横架部 4、及び、天板部 5 を備えている。	The ~~protective~~protection device 100 is ~~arranged~~disposed around a ~~precious~~valuable ~~protected~~protective object such as a human body, a national treasure, or a painting~~, etc., and prevents~~to prevent damage to the ~~protected~~protective object, and includes a portal ~~structure~~structures 1a, 1b, 1c, and 1d, ~~A~~a ~~side~~lower horizontal portion 4, and a top plate portion 5~~ are provided~~.
145.	なお、被保護物体は、門型構造物 1a、1b、1c、1d によって囲まれた空間に配置される図略の載置部 7（図 6 参照）の上面に載置される。	The protective object ~~to be protected~~ is placed on ~~the~~an upper surface of an unillustrated ~~placement~~mount portion 7 (see FIG. 6) disposed in a space surrounded by the ~~gate type~~portal structures

出展：特許情報プラットフォーム「Ｊ-PlatPat」https://www.j-platpat.inpit.go.jp/
特許登録番号：特許5159976

特許5159976におけるエラーの種類と個数

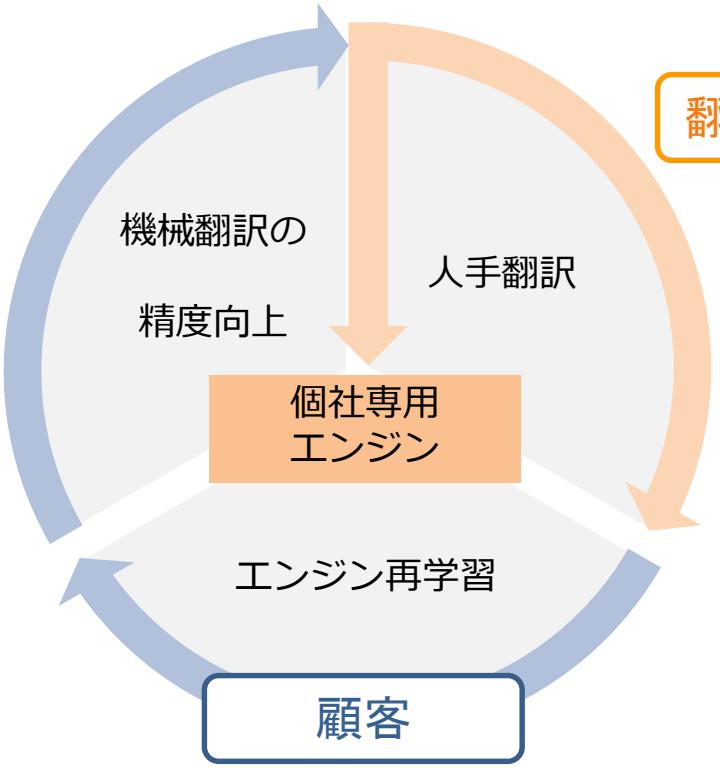
種類	個数
X1（未訳）	1
X2（未文）	136
X3（訳抜け）	101
X4（用語選択）	84
X5（用語不統一）	68
X6（係り受けのミス）	157
X7（明瞭性違反）	61
X8（特許翻訳実務違反）	54
X9（スペルミス）	2
X10（文法ミス）	54
X11（符号の泣き別れ）	16
X12（単複のミス）	19
X13（冠詞のミス）	52
X12,13（単複、冠詞のミス）	1
合計	806

機械翻訳の導入で翻訳作業の時間は短縮するが、
翻訳者による手直しが不可欠

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

3． 機械翻訳の戦略的位置づけ　機械翻訳を活用したビジネスモデル

言語資産を活用し
効率化を実現



翻訳センター

機械翻訳（NMT）の
外販

人手翻訳によって生成される
翻訳データの管理・運用

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

3．機械翻訳の戦略的位置づけ　機械翻訳を活用したサービス事例

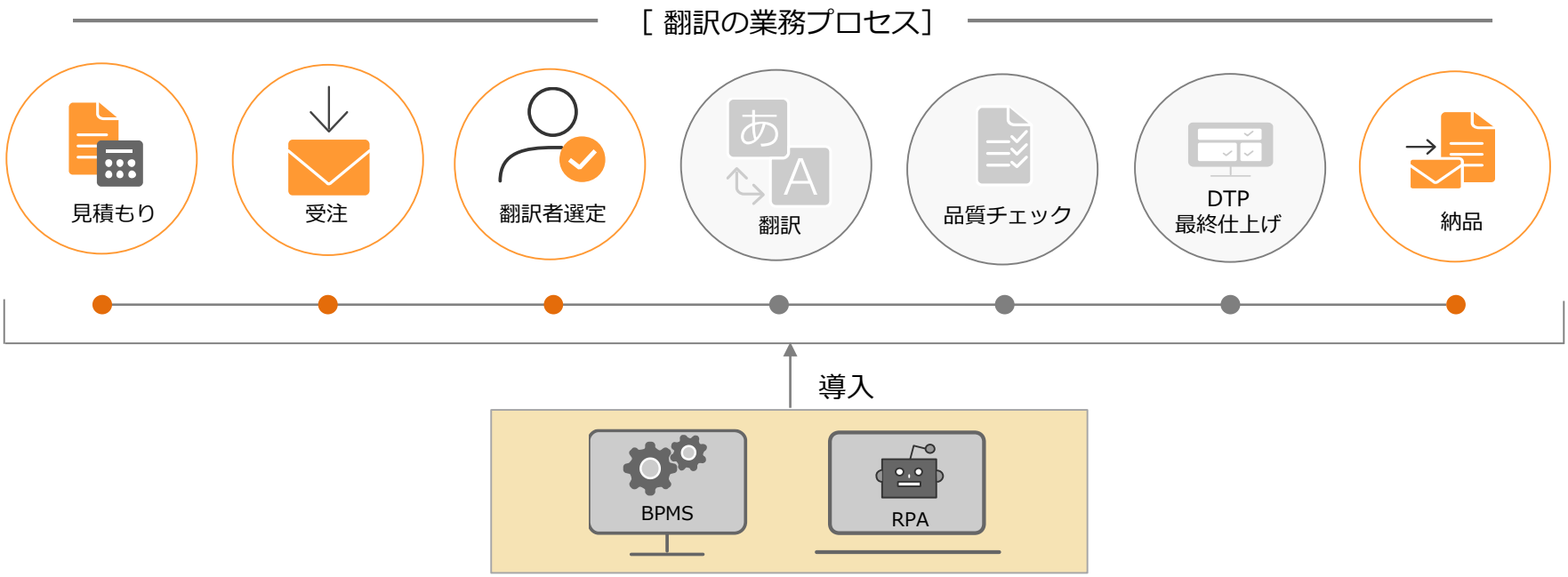
■製薬業界向けAI翻訳「製薬カスタムモデル」の共同開発*

コーパス収集	機械学習	性能評価	サービス提供
第1期メンバー（12社）が保有するコーパスを収集、アライメント	コーパスを機械学習させ「製薬カスタムモデル」を開発	「製薬カスタムモデル」の性能・訳出の評価	AI翻訳プラットフォームサービス「COTOHA® Translator」に搭載して提供**

*2019年12月19日付プレスリリース：
製薬業界向け AI 翻訳の精度を向上させる「製薬カスタムモデル共同開発」の第二期メンバー募集を開始
**カスタムモデル導入権はコーパス提供企業に限定

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

４．経営基盤の整備　社内業務の効率化



コーディネータの社内業務を効率化

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

Ⅰ．翻訳センターとは

Ⅱ．今後の戦略～第四次中期経営計画

Ⅲ．2021年3月期1Q業績と通期予想

Ⅳ．株主還元

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

1. 2021年3月期第1四半期　業績

単位：百万円、%、円

	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	増　減	伸　率
売上高	2,735	2,185	△550	△20.1
営業利益	88	△45	△133	－
経常利益	91	△45	△136	－
親会社株主に帰属する当期純利益	56	△55	△111	－
１株当たり四半期純利益	16.88	△16.56	－	－

※2021年3月期第1四半期においてはUS1ドル＝109.11円で換算しています。

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER New Standards in Translation

2．2021年3月期業績予想

10月30日に2Q業績予想の上方修正をリリース

単位：百万円、%、円

	2021/3期 2Q（予）【8/11発表】	2021/3期 2Q（予）【10/30発表】	伸率	2020/3期 2Q	2021/3期（予）	伸率	2020/3期
売上高	4,380	4,519	△20.0	5,653	9,300	△19.4	11,550
営業利益	△40	△10	―	344	170	△79.1	813
経常利益	△40	△8	―	350	150	△81.7	822
親会社株主に帰属する当期／四半期純利益	△70	△49	―	221	30	△90.1	304
１株当たり当期／四半期純利益	△21.05	△14.72	―	66.62	9.02	―	91.82
１株当たり配当金	―	―	―	―	20.00	―	42.00

※2021年3月期2Qおよび通期予想においてはUS1ドル＝ 108.00円で換算しております。

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER New Standards in Translation

3．事業別売上高　1Q業績と通期予想

単位：百万円、%

	2021/3期 1Q	伸率	2020/3期 1Q	2021/3期（予）	伸率	2020/3期
翻訳事業	1,732	△8.2	1,887	7,180	△11.4	8,112
特　　許	494	△15.0	581	1,980	△12.3	2,258
医　　薬	659	10.7	595	2,800	1.8	2,749
工業・ローカライゼーション	430	△17.0	519	1,900	△23.0	2,472
金融・法務	148	△22.4	191	500	△20.9	632
派遣事業	315	5.3	299	1,240	3.3	1,200
通訳事業	69	△75.5	285	330	△67.7	1,022
コンベンション事業	5	△96.5	157	250	△68.0	782
語学教育事業	12	△76.4	51	50	△70.9	171
その他	50	△6.7	54	250	△4.4	261
売上高合計	2,185	△20.1	2,735	9,300	△19.4	11,550

※その他には外国出願支援事業などが含まれます。

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER New Standards in Translation

４．損益計算書　1Q業績と通期予想

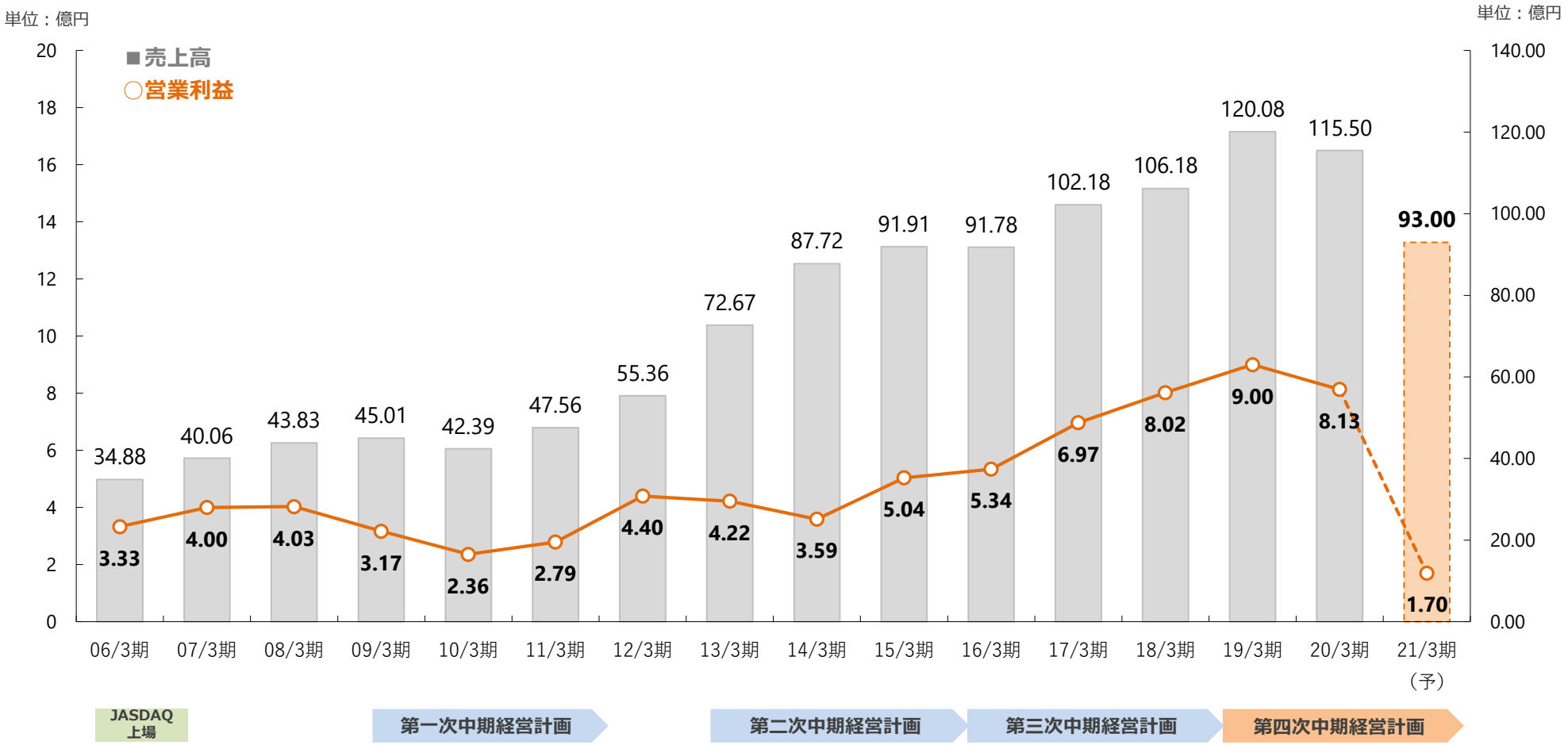
単位：百万円、%

	2021/3期 1Q	売上比	2020/3期 1Q	売上比	2021/3期（予）	売上比	20/3期	売上比
売上高	2,185	100.0	2,735	100.0	9,300	100.0	11,550	100.0
売上原価	1,211	55.4	1,587	58.0	5,200	55.9	6,625	57.4
売上総利益	973	44.5	1,148	41.9	4,100	44.1	4,925	42.6
販売費及び一般管理費	1,019	46.6	1,060	38.7	3,930	42.3	4,111	35.6
営業利益	△45	3.2	88	3.2	170	1.8	813	7.0
営業外損益	0	0.0	3	0.1	△20	—	8	0.1
経常利益	△45	—	91	3.3	150	1.6	822	7.1
特別損益	—	—	△1	—	—	—	△324	—
親会社株主に帰属する当期／四半期純利益	△55	—	56	2.0	30	0.3	304	2.6

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER New Standards in Translation

5．業績推移



Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

Ⅰ．翻訳センターとは

Ⅱ．今後の戦略～第四次中期経営計画

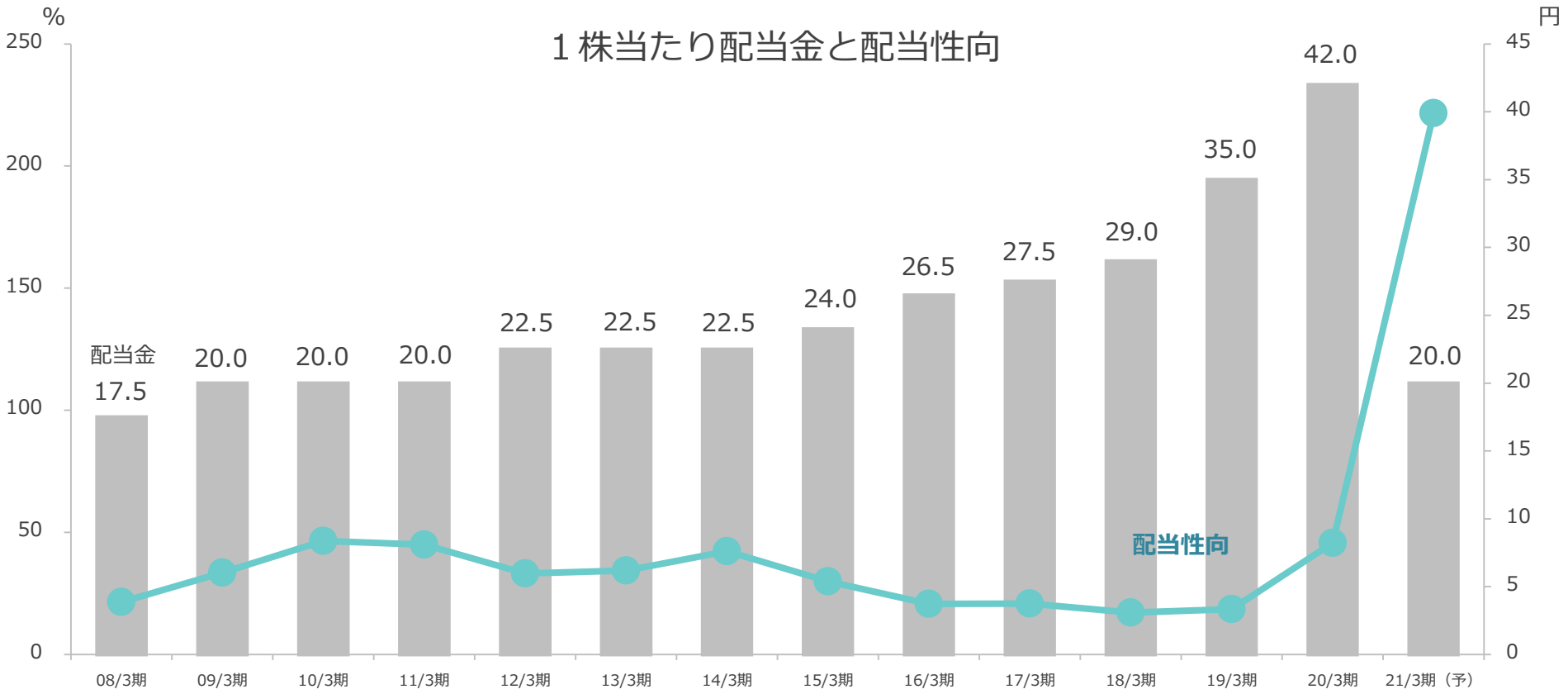
Ⅲ．2021年3月期1Q業績と通期予想

Ⅳ．株主還元

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

1．株主還元

厳しい業績予想を踏まえ、21/3期の配当は1株当たり20円と減配を予想



*2018年4月1日付で株式1株につき2株の株式分割を実施しております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たりの指標の推移を記載しています。

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

参考資料

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

1．事業セグメントおよびグループ会社　一覧

	翻訳事業	通訳事業	派遣事業	コンベンション事業	語学教育事業	その他
翻訳センター	●					●
アイ・エス・エス		●	●	●	●	
外国出願支援サービス						●
パナシア	●					
HC Language Solutions, Inc.	●					
メディア総合研究所	●					

*2015年4月設立のランゲージワン（株）（多言語コンタクトセンター事業）は持分法適用会社につき、事業セグメントには含まれておりません。

*（株）アイ・エス・エスは2020年4月1日付で語学教育事業を展開する（株）アイ・エス・エス・インスティテュートを吸収合併しています。

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER New Standards in Translation

2．連結業績推移

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
売上高（百万円）	9,191	9,178	10,218	10,618	12,008	11,550
経常利益（百万円）	502	534	699	812	905	822
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	283	430	444	566	630	304
資本金（百万円）	588	588	588	588	588	588
発行済株式総数（株）（＊１）	1,684,500	1,684,500	1,684,500	1,684,500	3,369,000	3,369,000
純資産額（百万円）	2,815	3,126	3,477	3,939	4,350	4,545
総資産額（百万円）	4,501	4,657	5,111	5,741	6,486	6,222
自己資本比率（%）	62.5	67.1	68.0	68.6	67.0	73.0
売上高経常利益率（%）	5.4	5.8	6.8	7.5	7.4	7.0
従業員数（人）（＊２）	405	393	413	518	507	522
登録者数（人）（＊３）	4,203	4,355	4,428	4,221	2,889	3,030

＊1　2013年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施
　　また2018年4月1付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施
＊2　連結正社員数
＊3　翻訳センター単体登録者数（2015年11月より変更）

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

3．事業別業績推移

単位：百万円

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
翻訳事業	6,493	6,727	7,035	7,593	8,506	8,112
特　許	1,730	1,799	1,824	1,880	2,139	2,258
医　薬	2,257	2,376	2,445	2,744	2,897	2,749
工業・ローカライゼーション	1,911	1,917	2,020	2,239	2,725	2,472
金融・法務	594	633	745	729	744	632
派遣事業	1,310	881	900	1,127	1,192	1,200
通訳事業	646	632	783	933	1,039	1,022
コンベンション事業	410	550	1,107	496	677	782
語学教育事業	214	213	210	197	200	171
その他	115	171	180	269	392	261
売上高合計	9,191	9,178	10,218	10,618	12,008	11,550

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

4．損益計算書　推移

単位：百万円、%

	2015/3期	構成比	2016/3期	構成比	2017/3期	構成比	2018/3期	構成比	2019/3期	構成比	2020/3期	構成比
売上高	**9,191**	100.0	**9,178**	100.0	**10,218**	100.0	**10,618**	100.0	**12,008**	100.0	**11,550**	100.0
売上原価	**5,090**	55.4	**5,307**	57.8	**6,026**	58.9	**6,112**	57.5	**6,999**	58.2	**6,625**	57.4
売上総利益	**4,100**	44.6	**3,871**	42.2	**4,191**	41.0	**4,506**	42.4	**5,009**	41.7	**4,925**	42.6
販売費及び一般管理費	**3,595**	39.1	**3,336**	36.3	**3,494**	34.2	**3,704**	34.8	**4,108**	34.2	**4,111**	35.6
営業利益	**504**	5.5	**534**	5.8	**697**	6.8	**802**	7.5	**900**	7.4	**813**	7.0
営業外収益	**6**	0.1	**3**	0.0	**5**	0.0	**10**	0.0	**5**	0.0	**10**	0.1
営業外費用	**8**	0.1	**3**	0.0	**3**	0.0	**0**	0.0	**0**	0.0	**1**	0.0
経常利益	**502**	5.5	**534**	5.8	**699**	6.8	**812**	7.6	**905**	7.5	**822**	7.1
特別損益	**35**	0.4	**142**	1.5	**1**	0.0	**12**	0.0	**50**	0.4	**△324**	－
税金等調整前当期純利益	**538**	5.9	**676**	7.4	**700**	6.9	**824**	7.7	**954**	7.9	**498**	4.3
親会社株主に帰属する当期純利益	**283**	3.1	**430**	4.7	**444**	4.3	**566**	5.3	**630**	5.2	**304**	2.6
販売費及び一般管理費	**3,595**	100.0	**3,336**	100.0	**3,494**	100.0	**3,704**	100.0	**4,108**	100.0	**4,111**	100.0
人件費	**2,622**	72.9	**2,362**	70.8	**2,537**	72.6	**2,653**	71.6	**2,878**	70.0	**2,926**	71.2
人件費以外	**973**	27.1	**973**	29.2	**957**	27.4	**1,051**	28.4	**1,230**	30.0	**1,185**	28.8

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

5．賃借対照表　推移

単位：百万円

	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
（資産の部）						
流動資産	3,856	4,097	4,632	4,668	5,220	5,213
固定資産	645	559	478	1,072	1,265	1,009
資産合計	**4,501**	**4,657**	**5,111**	**5,741**	**6,486**	**6,222**
（負債の部）						
流動負債	1,545	1,435	1,543	1,718	1,974	1,503
固定負債	141	95	90	83	161	173
負債合計	**1,686**	**1,531**	**1,633**	**1,801**	**2,135**	**2,135**
（純資産の部）						
Ⅰ．株主資本	2,767	3,094	3,449	3,923	4,332	4,531
Ⅱ．その他の包括利益累計額	47	31	28	15	17	13
Ⅲ．少数株主持分	－	－	－	－	－	－
純資産合計	**2,815**	**3,126**	**3,477**	**3,939**	**4,350**	**4,545**
負債純資産合計	**4,501**	**4,657**	**5,111**	**5,741**	**6,486**	**6,222**

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation

株式会社翻訳センター　経営企画室

TEL:03-6369-9963　E-mail:ir@honyakuctr.co.jp
URL：http://www.honyakuctr.com/

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。
本資料に掲載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または
約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

Copyright Honyaku Center Inc. All Rights Reserved.

HONYAKU CENTER
New Standards in Translation